

//// 企業研修

CORPORATE TRAINING MOVIE

みんなを始めよう脱炭素

第三部

企業における脱炭素の取組事例

北海道経済部ゼロカーボン推進局
ゼロカーボン産業課



//// 企業が脱炭素経営を進めていく上で ////

重要なこと それは 守りと攻め


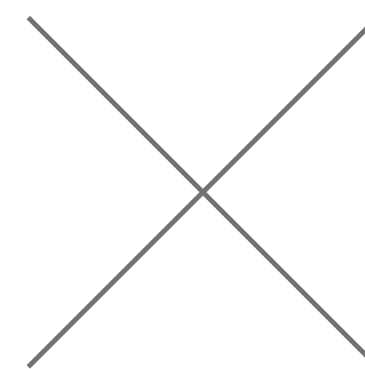
守りというのは自社の脱炭素が継続的に進む流れを作り、いかに定着させていくかということ。
一方、攻めというのは循環型社会という新たな社会において、自社がどこに力を置いて市場で戦い、
どのように永続的に事業を成長させるのかということ。
この守りと攻めの観点から脱炭素経営を進めている
企業の取組をご紹介します。



脱炭素経営
POINT | 守り

自社の排出削減

自社の脱炭素化が継続的に
進む流れを作り、
いかに定着させるか



脱炭素経営
POINT | 攻め

脱炭素のビジネス化

新たな社会 (循環型社会) において
自社がどのように永続的に
事業を成長させるか

取組事例

PRACTICAL EXAMPLE



CASE 01 / 株式会社 篠原化学

～輸送に伴う取組で削減～

CASE 02 / 株式会社 スタンダード運輸

～温室効果ガスを見える化～
～運送配送の効率化 etc～

CASE 03 / HOTEL GREAT MORNING

～再生可能エネルギー導入～



CASE 04 / 近畿電電輸送株式会社

～新規事業として太陽光リサイクルリユース事業を開始～

CASE 05 / 帝国イオン株式会社

～銅箔をメッキで軽量化技術を開発～

CASE 06 / SAKE-RE100

～業界での新たなブランド作り～